

匝瑳市教育委員会平成24年9月定例会会議録

匝瑳市八日市場ドーム選手控室

1 期 日 9月19日(水) 開会 午後3時30分 閉会 午後4時45分

2 出席委員 委員長 川内 恵美子  
委員 平山 延樹 委員 竹澤 実  
教育長 池田 竹四

3 出席職員 学校教育課長 吉川 昇 生涯学習課長 佐藤 和  
公民館長 今井 嘉則 図書館長 横町 昌之  
給食室長 岩澤 薫

4 委員長挨拶

みなさん、こんにちは。「暑さ寒さも彼岸まで」とはいえ、まだまだ猛暑が続いていますが、夕方、夜になると秋の風が心地良い感じがします。9月初めのテレビニュースで、被災地の仮設教室の中の温度計が37度、38度を示し、子どもたちがぐったりしている様子が報道されていました。そして、復興、再建を担う子どもたちのために、早くエアコンの設置を検討したい旨の報道もありました。

匝瑳市の教室内も子どもたちの熱気も加わり、33度以上になったかと思います。松尾、芝山、成田等を除いて、県内ではエアコンがどの位設置されているのでしょうか。各学校でも暑さ対策をいろいろ工夫されていることと思います。各学校の工夫を聞いて来年度に生かせたら良いと思います。本日は、各課からの現況報告及び当面の方針だけとなります。よろしく願いいたします。

5 前回会議録の承認(前、8月定例会分)

川内 恵美子 委員長  
竹澤 実 委員

6 議事録署名人選出(本、9月定例会分)

川内 恵美子 委員長  
平山 延樹 委員

7 現況報告及び当面の方針

資料に基づき、各課館室長が8月1日から8月31日までの現況報告及び当面の方針について説明があった。

平山委員 学校教育課から、匝瑳市における不審者通報状況について報告があった

が、発生後の対策について教えてもらいたい。

**学校教育課長** 基本的に学校から連絡があると、すべての小学校、中学校へ連絡をする。学校では、例えば不審電話等があれば帰りのホームルームを通じてすべての児童生徒に連絡をする。追いかけて等では、場所が特定されるので警察で対応して頂き、学校でも下校時に巡回する。軽犯罪については警察に対応してもらわないと難しい。

**平山委員** 発生について、時季的なものはあるのか。

**学校教育課長** 夏に向って多くなる傾向はあるが、以前と違って事件によっては年間を通じて発生している。

**平山委員** 市内では地域的なものはあるのか。

**学校教育課長** 特定の地域で発生する訳ではない。

**平山委員** 事件があった後に警察に頼んだり、先生がパトロールしたりという対応をするという事だが、時季、地域に関係なく事件が発生しているという事であれば常に心配が絶えない訳であるので、地域のみなさんと密接に連携してお願いするという事はできないのか。

**学校教育課長** それは可能である。情報はすべて保護者の方へいつている。教育委員会からではなく、学校を通じてPTA、地区の区長会などへお願いできると思う。

**教育長** 学校によっては見守り隊という事で組織的にやって頂いている状況だ。

**平山委員** そういう素晴らしい手本があるならば、他の学校へも紹介して頂ければと思う。難しい事だと思うが、子どもの安全を考えると難しいとばかり言っていられないと考える。是非、進めていつて頂きたい。

**竹澤委員** 学校教育課長からの不審者、事件、いじめ等の状況について、学校の対応も含めて詳しく説明頂き、ありがとうございました。全体としていずれも適切に対応されているのかなという印象を持った。ただ、いじめが全国的に社会問題化しており、いじめの認知度が話題となっている。文部科学省でいじめの実態調査が公にされて、熊本県が一番認知度が高い、一方、隣の佐賀県が非常に低いという事が

報道された。千葉県は比較的高く、全体としてはいじめの認知度が高い、先生方のいじめに対する意識が高い。これは大いに歓迎することだと私も思っている。むしろゼロである所の方がいじめに関する先生方の意識が不安なところもある。いじめではないかと思うような、子どもの微妙な心の変化に気づく教師、そういう教師でありたい。是非、いじめの件数があつたところが、学校として評価が下がるのではなく、いじめを発見し、解消する努力をする教師が良い教師だと、教育委員会として話をして頂ければ、先生方の取り組みも非常に積極的になってくるのではないか。小学校でもいじめは6校がある、5校がないと言っているが、ないと言っている学校も今回報告するようないじめではないとか、既に解消しているとかではないか。それぞれの状況もあると思うが、このまま継続していじめの解消のための努力をしてもらいたい。いじめは、いつでもどこでも起こりうると同時に、教師の見えていないところでも起こり得るといふところも勘案して、様々な情報を集めてより早期に適切に対応をして頂けるようお願いしたい。

もう1点、生涯学習課の報告の中で、観光物産大会の件があつた。ドームで物産大会が行われるということだが、呼びかける範囲はどのへんまでなのか。

**生涯学習課長** 産業振興課の主催事業なので会場を貸すだけになり、産業振興課からの呼びかけとなる。

**竹澤委員** 近隣の市町村にも呼びかけることになるのですね。淑徳大の匠瑳プロジェクトとはどういう内容なのか。

**生涯学習課長** 参加者の名簿は頂いているが、主催事業ではないので内容については把握していない。アトラクションを行った後に観光物産大会となっている。主催者が県であり、坂本副知事がみえ、太田市長の歓迎のことばがあり、来賓としては国会議員、県議員がみえる。500人から600人が集まる大会ということである。

**委員長** 新聞に載っていたが、淑徳大学の有志で匠瑳市を応援しようというものであつた。

**平山委員** 確か、匠瑳市出身の淑徳大学の学生が主体となって、Tシャツを作ったり、いろいろな活動を企画しているということであつた。

**竹澤委員** 今回の活動でいろいろな大学へ波及してくれるとありがたいと思う。

**平山委員** 生涯学習課の教室で、ドームで開催されているエアロビクス、ヨガへの参加者が多いが、公民館の講座のヨガ教室は人数が少なく、だいぶ参加人数に差があるが、公民館事業はどうしても文化系と見られてしまうため、参加が少ないのか。

**公民館長** 会場の関係で募集人数を20人程度に制限している。先生もその場所の中だけでないと、目が届かないということでどうしても人数が制限されてしまう。

**平山委員** 今、健康ブームでそういうものに参加者が多いのではないかと思ったが会場の関係であればしかたない。

(その他質問等はなかった。)

## 9 その他

○学校教育課長から、10月定例教育委員会の日程について10月18日(木)が提案され決定された。